

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	人権啓発推進事業		担当部署	健康福祉部 人権推進課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市人権条例、鳴門パートナーシッププランⅡ(セカンド)ステージ	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 6年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期
(小項目)		人権			
施策	1	人権の尊重			
基本事業	1	人権行政の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民など						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	「人権」に関して理解と認識を深め、問題意識を持ってもらい、人権侵害や差別問題を解決し、市民と行政が一体となって、互いに助け合い、支え合い、だれもが安心して暮らせる人権のまちづくりを進めていく。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	人権セミナーを計3回実施する。セミナー参加者へのアンケートの結果を踏まえ、講演会形式の啓発だけでなく、スポーツと連携した人権啓発活動を実施する。 ①他のイベントと重ならないように、開催時期を検討・調整して実施し、市民が参加しやすい環境を整える。 ②引き続き、鳴門教育大学との連携を深め、授業の一部としてセミナーの活用を積極的に働きかける。 ③徳島インディゴソックスなど地元のスポーツクラブと連携した人権スポーツ教室を実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		人権セミナーへの参加者数	500	360	300	210	210	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	障がい者の人権問題、同和問題、性的少数者の人権問題をテーマとして人権セミナーを各1回ずつ、計3回実施した。開催時期は他のイベントと重ならないよう調整して実施した。 人権の花運動では、対象となる鳴門中学校区の2小学校にて実施。 平成27年度からの新規事業として、徳島インディゴソックス・日赤徳島県支部との連携による「ふれあい人権スポーツ教室」を2児童クラブで実施し、幼少期からの人権に対する意識啓発を行った。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
		指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権セミナー等開催回数	3	3	3	3	3	回
	2	出前講座(男女共同参画推進条例含む)実施回数	14	10	10	10	10	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		人権セミナーへの参加者数	143	204	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)		56.7	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	283	0	0	11	294
		補正予算額	0	3	0	0	10	13
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	286	0	0	21	307
		決算額	0	286	0	0	21	307
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
		0.1	0.0		732		1,039	

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	311	307	303	303	303
	うち一般財源	10	21	17	17	17
	人件費	723	732	732	732	732
	総事業費	1,034	1,039	1,035	1,035	1,035

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		障がい者の人権問題、同和問題、性的少数者の人権問題をテーマとしてセミナーを3回実施し、幅広い世代への人権啓発を図った。 徳島インディゴソックスとの連携による「ふれあい人権スポーツ教室」では、2児童クラブからスポーツを通じて人権問題の取り組み手法を感じ取ってもらい、機会があれば開催してほしいとの要望等が寄せられた。
	効率性	B:概ね効率的だった		セミナーを開催することで、さまざまな人権問題の意識が高まっている。人権スポーツ教室による、幼少期の年代への人権啓発が図れた。
②成果に対する評価	指標名	人権セミナーへの参加者数		チラシの増刷、ウェブサイトやSNS等を活用したセミナーの周知を行うとともに、近年注目されている人権課題をテーマにセミナーを実施し、他課との合同開催なども行ったが、目標人数には達成しなかった。さまざまなテーマ(障がい者の人権問題、同和問題、性的少数者の人権問題)で人権問題を考えるセミナーを実施し、多角的な視点で人権啓発を行うことはできたが、参加者の増加を含む効果的かつ効率的な事業実施を目指し、改善を行う必要があると思われる。
	目標	360	人	
	実績	204	人	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		人権セミナー開催で、さまざまな人権問題についての意識が高まっているが、イベント等の重複がないよう調整する。ふれあい人権スポーツ教室では、幼少期の年代と保護者世代等への人権啓発を行った。今後も人権啓発に努めることからB評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	魅力ある人権セミナーを開催するために、市民が身近に感じられるテーマを設定するなどして効果的かつ効率的に啓発を行う必要がある。引き続き、県人権啓発事業委託金を活用し継続実施できるよう、他課やスポーツ関係団体等とも連携しながら、市民・子ども等に対する人権啓発活動の充実を図っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	現在注目されている人権課題をテーマに、全3回の人権セミナーを実施する。また、さまざまな人権啓発の一環として、人権に関するパンフレットの配布や人権パネル展示による啓発も行う。引き続き、県の人権啓発事業委託金を活用し、各種関係団体等と連携して、市民等に啓発活動の充実を図っていく。			
	R2年度	人権セミナー・人権スポーツ教室等を開催し、人権啓発に努める。			